

Visual Basic NET

のツボ

第7回 ログインフォームの作成とイベント処理

西田 雅昭
Nishida, Masaaki

今回は、メニュー付きの「メニューウインドウ」(図1、frmMenu)を作成し、[ログイン] ボタンでユーザーのログインのためのフォーム (frmLogin) を開くところで終わってしまいました。今回は、この [ログイン] ボタンをクリックして開く「ログイン」フォームを作成することにしましょう。今回から読み始めた方のために、前回までの作成結果を付録CD-ROMの¥DMAG¥TUBOフォルダに再収録してあります。



コントロールの配置

前回作成した「ログイン」フォームは途中までしか作成していないので、まずこれを完成させましょう。「frmLogin」フォーム上には [OK] ボタンがひとつあるだけです。フォームにLabelコントロールを3つ、TextBoxコントロールを2つ、Buttonコントロールをひとつ追加します。一番下のLabelコントロールの「BackColor」プロパティは「White」に指定します (図2)。

Visual Basic.NET (以下VB.NET) では、「Font」プロパティの既定値が「MS UI Gothic」になっているようです。最初に、すべてのコントロールを選択 (マウスで全体をドラッグして囲うか、[Ctrl] キーを押しながら選択) して、「Font」プロパティのフォント名を「MS P明朝」、スタイルを「太字」に指定してください。その他のプロパ

図1: 「ログイン」フォーム

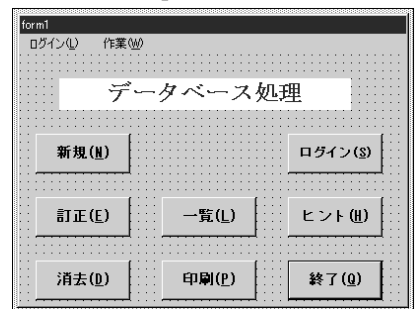
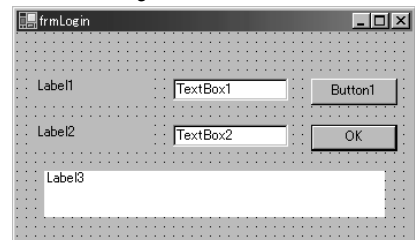


図2: 「frmLogin」にコントロールを配置



本稿で前提となるもの

OS Windows XP
開発環境 Visual Basic.NET



この記事で解説したサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DMAG¥TUBOフォルダ以下に収録しています

¥0210: 前回までに作成したプログラム
¥0211: 今回作成したプログラム

表1：フォームとコントロールのプロパティ設定

コントロール	プロパティ	値	コントロール	プロパティ	値
Button1	(Name)	btnQuit	Label1	(Name)	lblUser
	CausesValidation	False		AutoSize	True
	Text	中止		Text	ユーザー名
Button2	(Name)	btnOK	Label2	(Name)	lblPassword
	Text	OK		AutoSize	True
	Visible	False		Text	パスワード
Form1	(Name)	frmLogin	Label3	(Name)	lblMSG
	AcceptButton	btnOK		ForeColor	Navy
	CancelButton	btnQuit		TextBox1	(Name)
	ControlBox	False	TextBox2	(Name)	txtPassword
	FormBorderStyle	FixedDialog		ImeMode	Disable
	StartPosition	CenterScreen		PasswordChar	*
	Text	ログイン		Visible	False

ティについては表1をご覧ください。

●コントロールのプロパティ

表1中、フォームのプロパティに「AcceptButton」「CancelButton」というものがあります。VB.NETでは、ユーザーが「Enter」キーを押したときと「ESC」キーを押したときにクリックされるボタンを、それぞれフォームの「AcceptButton」プロパティと「CancelButton」プロパティで設定することになったのです。

また、多くのコントロールの「Visible」プロパティが「False」になっているのは、「ログイン」フォームを開いた際に、ユーザー名の入力か、ログインを中止するかのどちらかしか選択できないようにするために見えなくしてあるのです。「Enabled」プロパティを使う方法もあるのですが、私は表示がグレイになるのがあまり好きではないので、このようにしました。

「中止」ボタンの「CausesValidation」プロパティを「False」にしているのは、

入力途中でもログインの中止ができるようにするためです。

「txtPassword」テキストボックスの「PasswordChar」プロパティは、パスワードを入力する際に、入力した文字を見えなくするためのものです。ここでは、習慣に従って「*」を表示することにしました。

「txtPassword」テキストボックスの「ImeMode」プロパティだけを、「Disable」に設定してください。パスワードはローマ字で入力しますが、名前は漢字で入力する方もいるでしょう。

次は、タブオーダーの設定です。フォームを選択しておき、メニューから、

[表示] - [タブオーダー]

と選択すると、フォーム上のすべてのコントロールの左端に、ブルー地に白抜き文字でタブオーダーを数字で表示してくれます。図3のように設定してください。設定方法は前回に説明しましたので割愛します。

タブオーダーの設定が終わったら、もう一度、

[表示] - [タブオーダー]

と選択してください。白抜き数字が消えます。



カスタムアプリケーションの考え方

私は作成したアプリケーションに、長々とした取り扱い説明書を付けるのは好きではありません。過去の習慣では電話帳のような取り扱い説明書を付けていたようですが、これの作成にかかる費用が馬鹿にはなりません。ユー

図3：タブオーダーの設定

